

令和2年度 [鮮魚品の概況]

鮮魚担当：(株)キョクイチ 水産部門 常務執行役員 今成英臣

天候等により、市況の変動しやすい時期になります。全体的には、昨年同様に入荷量が減少しており、市況価格は高値傾向で推移しています。

主品目	主力産地	前年対比		市況予想 (Kg単価)	概況
		入荷量	市況		
本マグロ	地中海・北大西洋・九州	減	並	k 8,000～6,000～4,000	生鮮・冷凍物共に入荷、市況は前年並で推移。 生鮮は国内物が中心で、地中海は減。
鉢マグロ	太平洋・インド洋	減	高い	k 3,500～2,500～2,000	冷凍物は、横ばい。若干高値。
黄肌マグロ	太平洋・インド洋	減	高い	k 3,000～2,000	冷凍物は、横ばい。若干高値。
たこ	雄武・枝幸・宗谷	減	高い	足 k 1,400～1,200 頭 k 800～700	入荷量減、昨年より1割～2割高値で推移。
はまち	九州・四国	並	安	k 1,800～1,600	養殖物は入荷安定、単価は昨年より安値。
帆立(生玉)	野付・標津	並	高い	大 k 5,500～小 4,000	野付、噴火湾中心。相場は高値で継続。
タラバガニ	ロシア	激減	高い	k 10,000～8,000	ロシア産の入荷は激減、高値で推移。
毛ガニ	北海道(太平洋)	減	高い	k 10,000～8,000	ロシア産の入荷はほぼ無し。近海は高値の見込み。
うに	(輸入)ロシア・カナダ (地物)道東	並	並	一折(100g) 4,000～3,000	道東、ロシア、カナダが中心。水揚げにより価格変動有り。
タラ	道東・ラウス・日本海	減	並	k 1,300～700(フィーレ)	入荷量は減、市況は不安定。年末はフィーレ中心。 冷凍ものについては生産減。
キンキ	ラウス・斜里・網走・根室 冷凍 ラウス・ロシア	減	並	k 8,500～4,500 生 k 6,000～5,000 冷凍	釣物は高値で、刺網物も水揚げ量により価格変動激しい。 冷凍物、近海水揚げが少なく、価格高値。
北寄貝	苫小牧・野付・白糠	並	並	k 1,000～600	ここ数年水揚げ不安定、相場変動も多い。大型小、小型中心。
かき貝	厚岸・サロマ	並	並	k 6,000～2,500	入荷量は前年並みで、相場も前年並みで推移の見込み。
タイ	四国・九州	並	安い	養殖 k 1,200～1,000	入荷は安定し、養殖物が中心。昨年より安値。